

# H29 1学期 学校評価アンケート集計結果

野村小学校

A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない

☆ A B 合わせて90%以上 ◎ A B 合わせて80%以上 ▲ アクションプランの目標値85%に達していない

		<児童>						<保護者>			
H28	H29	A %	B %	C %	D %	H28	H29	A	B	C	D
1	◎ ▲	43%	37%	15%	5%	▲ ▲	31%	44%	22%	3%	
2	◎ ◎	55%	30%	9%	6%	☆ ☆	50%	41%	7%	2%	
3	◎ ▲	35%	46%	15%	3%	◎ ▲	28%	52%	18%	2%	
4	◎ ☆	62%	28%	7%	3%	◎ ◎	36%	45%	16%	4%	
5	☆ ☆	78%	16%	5%	1%	☆ ☆	71%	25%	3%	1%	
6	☆ ☆	69%	22%	4%	5%	☆ ☆	68%	27%	4%	1%	
7		39%	34%	18%	9%		26%	47%	24%	3%	
8	◎ ◎	58%	31%	9%	2%		26%	44%	26%	4%	
9	◎ ☆	55%	35%	8%	2%	◎ ◎	35%	52%	12%	1%	
10	▲ ▲	51%	25%	16%	8%	◎ ◎	61%	28%	10%	1%	
							64%			36%	

昨年（H28年度7月）同様、学校生活全般において児童・保護者とも肯定的な回答が多く、児童は、学校生活を楽しんでいる傾向にあり、保護者の方には学校の教育活動における取組にご理解いただいていると感じます。

特に、A「よくあてはまる」B「ややあてはまる」の割合が高い項目（90%以上）と、低い項目（80%未満）は、以下のとおりです。

<児童>		<保護者>	
<b>○ A「よくあてはまる」B「ややあてはまる」の割合が高い項目（90%以上）</b>			
1	友達と仲良くしている。……………94%	1	友達と仲良く活動している。……………96%
2	学校行事が楽しい。……………91%	2	学校行事を楽しみにしている。……………95%
3	「10分×学年」以上の家庭学習。……………90%	3	学校に行くのを楽しみにしている。……………91%
	何事もやる気をもって取り組んでいる。…90%		
<b>▲ A「よくあてはまる」B「ややあてはまる」の割合が低い項目（80%未満）</b>			
1	先生に何でも話したり相談したりしている。……………73%	1	家で進んでお手伝いしている。……………70%
2	1週間に75点以上の運動をしている。……………76%	2	何でも担任の先生に話している。……………73%
		3	10人以上自分から大きな声で挨拶。……………75%

「友達と仲良く活動している」「学校行事が楽しい」の項目については、児童・保護者とも高評価でした。集団生活を送る上で良好な友達関係の構築は不可欠です。また、充実した学校生活を送る上で学校行事の役割は大きいと考えます。今後も子供たちにとってより有意義になるよう充実させていきたいと思ひます。

また、「家庭学習」についての評価は、児童・保護者とも昨年より高くなり、定着してきていることがうかがえます。全国学力・学習状況調査の結果では、学校の授業時間以外に勉強している子供ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。今後は、家庭学習強化週間のときだけでなく、日頃から宿題をしっかりとやりきり、残った時間は自主学習等、プラスαの時間として学習できる習慣をつけたいものです。授業の復習やプリント等で間違えたところをもう一度解いてみることで基礎的な学力をつけていくことができると考えます。お子さん

の家庭学習ノート等をご覧になり、誉め、励ましていただけたらと思います。

一方、「何でも先生に話している」の項目の評価は、児童・保護者とも他の項目と比較すると低いです。児童にとって話しやすい環境を整え、教職員が子供たちに寄り添い、よき相談相手になれるよう、学校・学級の中での居場所づくりを大切にしながら、より一層努力していく必要があると考えます。

また、「家で進んでお手伝いをしている」の項目の評価は、昨年度（67%）より高くなっているものの、保護者の数値が最も低いです。学校では今年度、清掃開始時刻を5分早めたことで、10分間しっかり清掃に取り組むようになっただけでなく、時間前に清掃場所に来て進んで清掃に取りかかる子供が増えています。今後は、自分の担当した仕事や場所だけでなく、日頃から進んで仕事を見付けて行えるように働きかけていきたいと考えています。これらのよい姿が、家庭や地域に広がっていくことを期待しています。

「挨拶」についてもまだまだ課題があるといえます。自分では挨拶をしているつもりでも、相手にはそれが通じていないことがあります。まずは、「大きな声で」挨拶し伝えること、そして、「いつでも」「どこでも」「誰にでも」挨拶することの気持ちよさを味わえるようにしていきたいものです。一日の始まりの挨拶は家庭からなので、この項目については家庭と連携しながら、粘り強く、繰り返し取り組んでいく必要を感じています。

以上のような今回の結果を受け止め、これまでの取組を見直すとともに、改善に向けて具体策を講じていく必要があります。その取組の様子を学年だより等を通してお知らせし、学校と家庭、地域と連携を図りながら、より充実した学校生活や子供たちのよりよい成長につながるよう努めていきたいと思ひます。

今後とも本校の教育活動にご理解、ご支援をよろしくお祈いします。